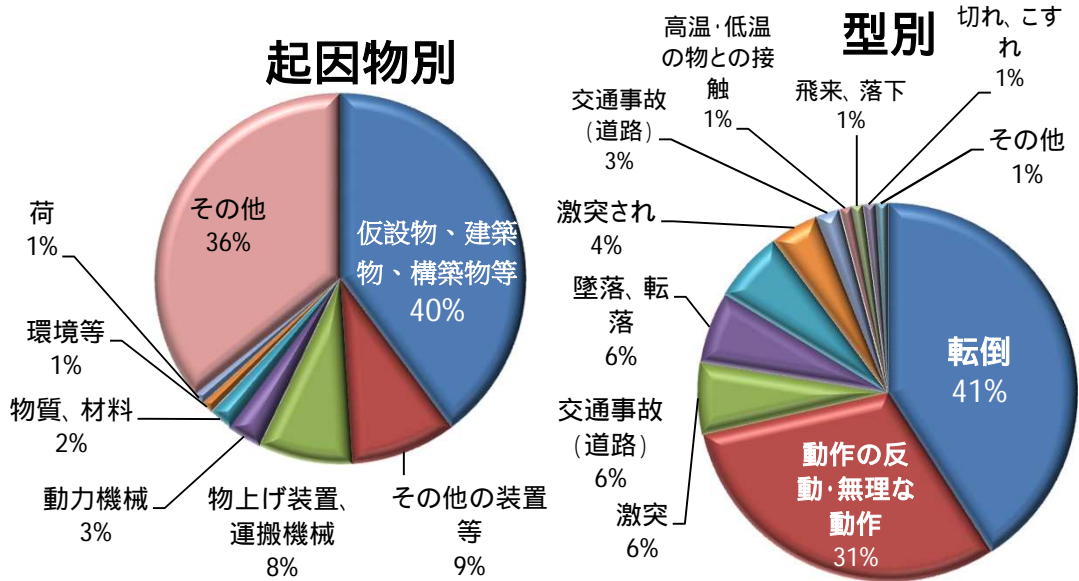
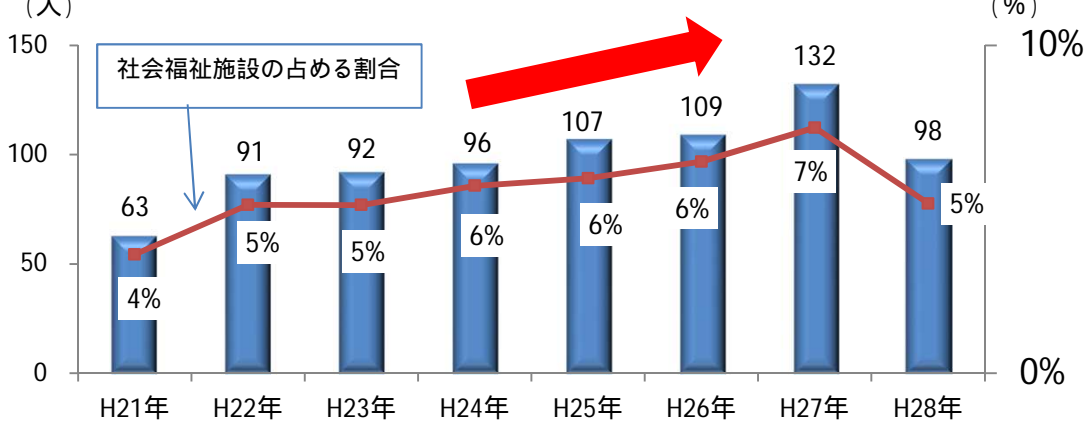


# 平成28年社会福祉施設における労働災害(熊本県)

## ポイント

- 熊本県における労働災害による死傷者数を産業別にみると、社会福祉施設等の割合が年々増加しています。今後も社会福祉施設分野における労働者の増加が見込まれ、労働災害の増加が懸念されます。
- 平成28年の社会福祉施設の労働災害を見てみますと、今まで増加していた労働災害の件数が減少しました。この原因の一つとしては、熊本地震による施設の稼働が減ったことが考えられます。平成29年5月末現在の社会福祉施設の労働災害発生状況は、32件であり、昨年同期の24件を上回っております。
- 労働災害の内容を見てみますと、事故の起因物別の分類では、「仮設物、建築物、構築物等」が40%を占めます。また、その他が36%を占めます。
- 型別では、「転倒」が41%、「動作の反動・無理な動作」が31%を占めます。

### 休業4日以上の社会福祉施設における労働災害及び全業種に占める割合の推移



# 社会福祉施設における労働災害の内容の推移(熊本県)

## ポイント

- 社会福祉施設の労働災害の内容を、事故の型別の分類でみたときに、平成28年は「転倒」と「動作の反動・無理な動作」で約7割を占めています。
- 「転倒」と「動作の反動・無理な動作」の推移を見ても、平成21年22年は、この二つで50%台であった割合が、年々増加している傾向にあります。
- 「動作の反動・無理な動作」で分類される労働災害の多くは腰痛災害です。
- 社会福祉施設の労働災害を防止するには、転倒災害と腰痛災害の対策が必要です。

### 社会福祉施設における休業4日以上の労働災害に占める災害内容の割合推移

